

令和3年11月5日

寒河江市議会議長 國井輝明様

厚生文教常任委員会

委員長 鈴木みゆき

## 管内調査報告書

厚生文教常任委員会管内調査について、次のとおり報告いたします。

### 記

- 1 期 間 令和3年11月4日（木）午前9時10分～11時10分
- 2 調査内容 タブレット授業について
  - (1) 現地視察（寒河江中部小学校にて授業参観）
  - (2) 事業概要説明・質疑応答（説明：教育委員会）
- 3 調査人員 8名（議員7名、随員1名）
- 4 感想所見 別紙のとおり

様式第2号

視察研修先	寒河江市立 寒河江中部小学校	氏名	鈴木みゆき
視察研修項目	タブレット授業について		
感想・所見など			
<p><b>【視察先の概要】</b></p> <p>寒河江市立寒河江中部小学校          児童数 608名 (令和3年4月1日現在)          学校のシンボル やまぼうし          校訓 素直(すなお) 根気(ねばり) 忍耐(がまん)          今年度の重点目標 「たくましさ」「思いやり」「郷土愛」          特色ある取組みとして、マーチングバンドが県大会、全国大会に出場するなどがあ          げられると思う。</p> <p><b>【授業参観の内容】</b></p> <p>1年1組 算数 かたちあそび 筒状の形を選び答えを送信する。</p> <p>2年3組 生活 楽しさのひみつはっけん! 一年生に紹介したいおもちゃ選びをする。</p> <p>3年3組 総合的な学習の時間 寒河江のじまんコンテスト さがえ祭りや温泉施設など、写真を表示しながら一人一人じまんした いものを説明する。</p> <p>4年1組 国語 伝わる言葉 慣用句 カタカナを含む慣用句、先生の画面を共有しながら説明など。</p> <p>5年4組 社会 わたしたちの生活と工業生産 自動車ができるまでをテーマに、組み立て工場にアクセスし、地図を 見るなど。</p>			

## 6年3組 社会 戦国の世から天下統一へ

長篠の戦いがあったころの世の中を描いた絵を表示し、気になった部分にスタンプやマークを入力し、先生のアイコンに提出。児童全員の結果をタブレットに表示し、検証する。

※ソフトはクラウド型 学習ソフト ベネッセの「ミライシード」を使用

文部科学省が進める「GIGA スクール構想」の実現に向けて、一人一台端末及び高速大容量の通信ネットワークを整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるとある。

Society5.0 時代を生きる子供たちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校 ICT 環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい中、本市においてはいち早く一人一台タブレット端末を導入し、課題とされていた持ち帰りも可能な教育環境を実現している。寒河江市議会においてもそうだが、山形県内でタブレット導入の速さや活用環境がトップクラスだ。

授業参観をさせていただき、子供たちはタッチパネルやキーボード、画面の拡大や縮小など、操作は問題なく使いこなしていることが分かった。

特に印象に残ったのが、タブレットの問題に答えていくだけで、児童一人一人の回答から、その児童にあったレベルの問題へとすすんでいくという点だ。

個別最適化した学びで知識の確かな定着をめざすドリル学習

- ① 学習履歴の把握
- ② リアルタイム進捗状況を確認
- ③ 学び直し
- ④ 宿題やコメントの配信

これにより先生は、どの生徒がどのくらいのレベルなのか一目瞭然で分かる。個人的な所見だが、将来これを発展させていけば、AI が児童一人一人にあった学力向上プログラムを作成し、それに沿って学習していくだけで学力アップにつながるのでは、と思った。

政府が策定した「第5期科学技術基本計画」の Society5.0、新しい社会の在り方

とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会だ。すでに私たちの社会もそうだが、職場や家庭に ICT があり、なくてはならないものとなっている。IoT 技術を活用すれば、パソコンやスマホから生活に必要な全てのサービスが利用できるようになっていく。

最近の車に搭載している自動運転装置や無人で走る自動車、スマート農業の自動草刈り機、無人のコンビニエンスストア、コロナ禍で行った遠隔医療など、身近なものが最新の技術に進化し、人の労働がなくても可能になる。その中で、子供たちの教育にタブレットを導入し、使うことに慣れる、から始まり、使いこなすまでの教育は小中学校で必要なことだ。これからの子供たちは ICT を使えて当たり前になるだろう。

タブレットの活用は多岐にわたる。

- ① コロナ関連で自宅待機中の生徒に授業のオンライン配信をする
- ② 家庭訪問(オンライン面談)をする
- ③ 会議のペーパーレス化
- ④ 家庭での調理実習を動画撮影・提出

上記以外にも活用できるものが今後出てくることと思う。活用事例を出し合い、好事例を参考にしながら、より効果的な活用へとステップアップしていったほしい。そして、本市の教育委員会と教員の方々には、始まったばかりの方針に、まだまだご苦勞をおかけすると思うが、子供たちの将来の為、日々尽力されていることに心から感謝申し上げる。